

うおっこたちが、 プチ社会体験!

地域の人々とふれあい、子どもたちが社会の仕組みを理解していく体験型プログラム「うおっこワーキングタウン」。魚崎児童館に1日限定で出現したミニタウンにはさまざまなお店が立ち並び、子どもたちはハローワークで仕事を探して働き、フィッシュという名の専用通貨で給料を受け取り、買い物や遊びを楽しみます。

子どもたちの多くは、開場と同時にハローワークへ一目散。警察や銀行、放送局、駄菓子屋、雑貨屋、パン屋など仕事はたくさんあるものの、人気の仕事はすぐに締め切り。働くだけでなく、そのお店で品物を買ったり遊んだり、利用者側の視点も経験できる仕組みになっています。

職業体験の他、おもちゃづくりや環境学校など人気のコーナーがめじろおし。子どもたちは遊びを通して、働くことの大切さやお金の価値を学んでいました。地域の人々の、子どもたちの未来にかける想いがいっぱいの1日でした。



うおっこワーキングタウン
(平成25年度魚崎・地域連携子育て支援事業)
日 時：2013年12月7日(土)
場 所：神戸市立魚崎児童館(東灘区民センター)
主 催：うおっこワーキングタウン実行委員会

▲ omusubi ポイント!

「地域のみなさんの経験や知恵を生かし、今後は若い人たちの応援も得て、よりよい行事にしていきたい」と語る、魚崎児童館の館長。子ども約470名、保護者約100名、ボランティア約170名が参加する毎年人気のイベントで、会場にはボランティアの方々の、子どもたちへの想いがあふれていました。「子は宝なり」は本当ですね。(取材：Aチーム)



放送局で、アナウンサーに。



ハローワークで仕事を探す。



消防学校で消火の訓練!



福祉学校で車椅子の介助を学ぶ。



働いたら、銀行で換金を。

ひがしなだをひとつに

区内の保健・福祉・医療に関する団体や機関の活動を広く伝え、理解や関心を深めることを目的に。今年は46団体が出店、12団体がステージに出演!子どもからシニア世代、障がいのある方まで大勢の方が楽しんでいました。(取材：Cチーム)

ひがしなだふれあいフェスタ

日時：2013年11月3日(日・祝)/毎年11月3日に開催
場所：住吉公園
主催：東灘区社会福祉協議会、東灘区役所

親子で体験!うおっこヘルパー

車椅子や高齢者疑似体験などを通して、高齢者福祉について学べる「親子福祉学級」。最後は「うおっこヘルパー」の資格試験に挑戦して全員合格しました!参加した子どもたちは今後、困っている人に声をかけてくれることでしょう。(取材：Bチーム)

魚崎児童館 親子福祉学級

日時：2013年10月26日(土)
場所：神戸市立魚崎児童館
主催：神戸市立魚崎児童館

「omusubi」第2号の編集チーム、募集!

地域の方々や学生さんなど、みんなで作ってあげていく本紙の制作に、主体的に関わってみませんか?編集・取材などはその道のプロがサポートします。

参加してみたい方、お問い合わせは
東灘区社会福祉協議会
「omusubi」編集室まで

編集後記

今回、新たな試みとして、地域の方や大学生といっしょに広報紙を制作。取材から記事の執筆まですべてに関わっていただき、読み手のことを考えながら仕上げていきました。コピーライターやデザイナー、カメラマンの協力もあり、編集チームをはじめ、取材先のみなさんの想いがあふれるすてきな紙面になりました。現在、「omusubi」第2号の編集チームを募集中!ぜひ、あなたも私たちと共にチャレンジしてみませんか。(東灘区社会福祉協議会)

「omusubi」は、赤い羽根共同募金の寄付でつくられています。

omusubi

地域の手と手を結び、
できごとメディア
「おむすび」神戸・東灘

第1号
2014年3月末日発行

発行人…… 社会福祉法人 神戸市東灘区社会福祉協議会
〒658-8570 神戸市東灘区住吉東町5-2-1
TEL 078-841-4131(代表)
FAX 078-841-7999
メール info@higashinada-syakyo.or.jp
http://www.higashinada-syakyo.or.jp/

保護者の願い!多世代交流

「子育ての方法がわからない」「いろんな世代と交流したい」、そんなママさん・パパさんたちの声から生まれたイベント。お手玉などの昔遊びや手づくりおもちゃで遊ぶ体験を通して、さまざまな世代のコミュニケーションが生まれ、大にぎわいとなりました。(取材：Bチーム)

地域子育て元気アップ

日時：2013年12月8日(日)
主催：神戸市立田中児童館、東灘区社会福祉協議会

いっぱい体を動かそう!

日ごろ思いきり運動する場所も少ない、障がいのある子どもたちがバランスボールなどを楽しめるプログラムを初開催!子どもたちは「すごく楽しかった」、ママさんは「こんな機会をもっと増やしてほしいな」と話していました。(取材：Aチーム)

元気アップジム〜からだをうごかして遊ぼう!〜

日時：2013年12月12日(木)/定期開催を検討中
主催：東灘区自立支援協議会こども部会、東灘区社会福祉協議会

「omusubi」第1号編集チーム

- | | | |
|--|---|---|
| A 上山治夫
やっど、チヨボラ(ちょっとしたボランティア)に目覚めました!
北岡裕
東灘で生まれ育って65年、ますます好奇心旺盛!
都築いく子
地域のイベントに参加して、元気や笑顔をもらってる | B 竹内南
甲南大学 法学部 法学科1年
藤岡賢孝
甲南大学 経済学部 経済学科4年
山根奏海
甲南大学 マネジメント創造学部 マネジメントコース学科1年 | C 清水美里
甲南大学 法学部 法学科2年
丸井翔雲
甲南大学 経済学部 経済学科4年
満尾玲奈
甲南大学 経済学部 経済学科3年
森下万里子
甲南大学 文学部 日本語日文学科1年 |
|--|---|---|

善意銀行へのご寄付ありがとうございました。 (平成25年4月~平成26年2月)

- | | |
|--------------|----------------------|
| ・内浜公園管理会様 | ・富島一枝様 |
| ・金丸一様 | ・平澤時代様 |
| ・キミ・ロイヤル甲南店様 | ・マスターズゼミOB会様 |
| ・神戸市生活指導研究会様 | ・御影本町五六会自治会ボランティアの会様 |
| ・サザンVネット神戸様 | (※五十音順) |

「おむすび」
神戸・東灘
2014.3
第1号

地域の手と手を結び、できごとメディア

omusubi

東灘区のまちや人、
心をつなぐできごとを
もっとわかりやすく伝えたい。
そんな想いから生まれた、
「おむすび」神戸・東灘。

今回は、

子育てに大活躍中の
ママさん・パパさんに

知っておいてほしい、
さまざまな取り組みを特集します。

「omusubi / おむすび」は みんなでつくる、できごとメディア。

2012年に発行された、地域の手と手を結ぶ「見守り」マガジンが、このたび「できごと」メディアにリニューアル! 「omusubi」は、東灘区でおこなわれているさまざまな取り組みをよりわかりやすくお伝えしていこうという、東灘区社会福祉協議会の新しいチャレンジです。

記念すべき第1号で取材や記事の執筆をおこなったのは、地域の人たちと甲南大学の学生で結成された3つのチーム。コピーライターやデザイナーなど、その道のプロから編集や取材などのコツを教わり、現場を走りまわって集めたリアルな声や体験をレポートします。



世代を越えたおしゃべりで、こぼれる笑顔。

新しい友と、絆を深めていこう。

2012年11月に始まり、1周年を迎えたモーニングカフェ「あい♡あい」。代表の田中さんによると、魚崎中学「ハートプロジェクト」の生徒さんからの提案をもとに、「地域のつながりが増えていけばいいなあ」と考えてスタートしたそう。「あい♡あい」は、ウェイター役の中学生とシニア世代が顔見知りになったり、同じ地域で暮らす人々の新たな交流を生み出すことを目的にしています。

この活動に関わるようになったきっかけについて、「地域に貢献できる何かがあったと考えていました。いろんな人と関わっていくことが大切だと思うからです」と話してくれたのは、ウェイターを務めた魚崎中学2年の石野秀雄君。この日3回目の参加だという高光和男さん・愛子さんご夫婦は「掲示板を見てこのイベントを知り、来てみたら楽しかった。これからも参加したいです」とのこと。会場のあちこちには笑顔の花が咲き、終始なごやかな雰囲気に包まれていました。

モーニングカフェ「あい♡あい」

日時：毎月第2土曜 10時～12時ごろ開催
場所：魚崎南地域福祉センター
参加：モーニングセット200円、飲み物のみ100円
主催：魚崎南ふれあいのまちづくり協議会

▲ omusubi ポイント!

ほぼ毎回来ているという川上一子さん、体調をくずした際に「あい♡あい」で会ったお友達が心配して電話をかけてくれたそう。これぞ、「あい♡あい」が結んだつながり。今後、同様のイベントに参加する人が増えて地域での交流が深まれば、もっといい町になりそうです。

(取材:Bチーム)



魚崎中学「ハートプロジェクト」のみなさん。



ビッグスマイルが、すてき!



絆を深めるモーニングセット。



みんなでジャンプ!

キラキラ輝く笑顔が見たいから。

元気な声が響く児童館には、大学生の到着を今か今かと心待ちにしている子どもたち。「お兄さんお姉さんとあそぼう」というプログラムは、生田児童館からの紹介で始まった、神戸大学のボランティアサークルによる取り組みです。

子どもたちの「楽しかったよ!」という嬉しい一言が、この活動を活気づけるエネルギー。「子どもたちの笑顔ほど輝いているものはありません」と話す学生たちは「1人でも多くの素敵な笑顔が見たいから」と、さまざまなイベントを企画し、もっと楽しくするにはどうすればいいか、一生懸命考えながら準備をしています。

小学校高学年から中学生まで、児童館の放課後児童クラブの卒業生たちが大きくなって「お兄さんお姉さんとして一緒に遊んでいる姿に成長を感じる」という住之江児童館の職員さん。だれでも気軽に参加できるので、笑顔いっぱい住之江児童館へぜひ!

お兄さんお姉さんとあそぼう

日時：毎月2回土曜 14時～17時ごろ開催
場所：神戸市立住之江児童館、児童館近くの公園
主催：神戸市立住之江児童館

▲ omusubi ポイント!

住之江児童館の放課後児童クラブは、小学1年生から4年生がわいわい集う、アットホームな空間です。毎月2回(土曜)、近所の大学生と一緒に遊んでいる姿に、自然と笑みがこぼれます。あどけない笑顔に出会えることが、この活動の醍醐味なのかもしれません。

(取材:Cチーム)



元気いっぱい子どもたち。



もーいいかい? もーいいよ!



お兄さん大好き!

東灘区の子どもたちと子育て世代のための イベントスケジュール (予定)

4～6月

- 御影北児童館 (NEW) オープン
- 2～4歳児クラス募集 (区内各児童館 すこやかクラブ)

7～9月

- 区内各児童館 夏まつり
- なかよしキッズ夏休みバージョン
- じどうかんジャンボリー

10～12月

- 赤い羽根共同募金(10月)
- ひがしなだふれあいフェスタ **今回取材!** (11月3日 文化の日)
- 歳末たすけあい募金(11月中旬～12月末)
- 区内各児童館 クリスマス会
- おむすびカレンダー交流(区内各小学校・児童館)

1～3月

- 放課後児童クラブ 申し込み受付開始

定期開催

- お兄さんお姉さんとあそぼう **今回取材!**
- モーニングカフェ「あい♡あい」 **今回取材!**
- 0歳～未就園前児童クラス (区内各児童館 なかよしひろば、毎週)

お友達がほしいなあ、公園デビューはいつごろがいい? など...さまざまな不安や疑問を抱いているママさん・パパさんは、児童館へ! 児童館は、子育てなどに関する相談や情報交換、交流の場。子どもたちはもちろん、ママさん・パパさんのための空間です。

※ この他にも、さまざまなイベントを計画中。
※ 開催の有無などが、予告なく変更される場合があります。くわしくは、東灘区社会福祉協議会までお問い合わせください。

▲ 「omusubiポイント」とは?

子どもたちや子育て世代のための取り組みを、地域の人々や学生の視点で見つめると? 取材を終えての感想、今後の展望など。